

西中町民図書館 新刊オススメ本

※西中町民図書館の休館日は、毎週月曜日と第3日曜日です。



『最後の甲賀忍者』
[土橋 章宏 著]
角川春樹事務所

「戊辰戦争で一旗揚げ、甲賀忍者としてかつての栄光を取り戻す!!」“元”忍びの里・甲賀では、そんな希望を掲げ、若者たちが集められていた。

その中でも、鬼っ子・山中了司、宮司見習い・安井金左衛門、箱入り息子・大原伴三郎、誇り高き筋骨・鶴飼当座、歳のくった薬術師・間瀬勘解由の個性豊かな5人組は喧嘩ばかり。戊辰戦争で実在した『甲賀隊』として、旧幕府派との激戦を制した彼らの活躍を描く、笑いと涙と感動のノンストップ・エンターテインメント時代小説。



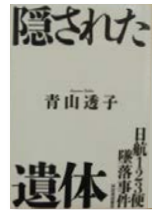
『おふたりさまの老後は準備が10割』
[松尾 拓也 著]
東洋経済新報社

『森にあかりが灯るとき』
[藤岡 陽子 著]
PHP研究所



『武田の金、毛利の銀』
[垣根 涼介 著]
KADOKAWA

『隠された遺体 日航123便墜落事件』
[青山 透子 著]
河出書房新社



町民ギャラリー フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・薄 俊一さん（新村）の作品です。



📷 作品紹介

「秋色競演」

秋日和、林道を歩いていた時に法面の上に真っ赤に燃えるようなモミジが目飛び込んできた。秋の日差しに映えるその鮮やかな色彩に感動し、背後のナラの黄葉と澄んだ青空を入れてシャッターを切った。偶然だが、法面の下から仰ぎ見る構図が画面を引き締めていると思う。



第18回市町村対抗福島県軟式野球大会

接戦の末、惜しくも敗退

9月14日、第18回市町村対抗福島県軟式野球大会が開幕し、県営あづま球場などを会場に全59市町村が参加しました。西会津町チームは、9月15日に信夫ヶ丘球場（福島市）で1回戦田村市チームと対戦しました。

序盤から白熱した投手戦となり、先発の雅楽川峻投手は3回を無失点、5つの三振を奪う好投をみせました。4回からリリーフした三留怜央投手も被安打はわずかに1本と好投しました。攻撃でも西会津町チームは毎回のようヒットで出塁し優位に試合を進めましたが得点を奪えず、0対0のまま延長戦に入りました。延長戦は規定によりタイブレークで両者ランナーを1・2塁に置いての攻撃となりましたが、8回裏相手にスクイズで1点を決められ、惜しくも0対1で1回戦敗退となりました。

西会津町チームは強豪チームとも互角に戦うなど、近年安定したチーム力を見せており、選手たちは来年の上位進出に向け、決意を新たにしていました。



10月5日、第11回市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬光陽ソフトボール場（相馬市）で開幕しました。

11回目の開催となった今大会は、54市町村が出場し熱戦を繰り広げました。西会津町チームは10月6日の1回戦が不戦勝となり、12日に2回戦となる国見町と対戦しました。

西会津町チームは、1回の表に岩原隼選手のタイムリーヒットで1点を先制しましたが、国見町チームに3回までに16点を取られる苦しい展開となりました。試合は2-16で敗れ、2回戦敗退となりました。試合には負けたものの最後まで諦めず、全力プレーで戦った選手たちは今回の経験を糧に来年こそは1勝を誓っていました。



来年の「1勝」を誓い合う

第11回市町村対抗福島県ソフトボール大会

